

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	観光ガイド小冊子製作事業			会計	款	項目	大事	小事	
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	01	07	01	03	01	02
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課		流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
				主管課長		恩田 一成			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全市民、市外の観光客	意図	観光交流人口の増加並びに市民に対し本市の歴史・文化への理解を深めていただくことを目的に、観光施設等を掲載した観光マップを作成する。
事業内容	流山市観光マップ（ことりっぷ流山さんぽ）の作成。			
事業開始から現在までの状況変化	従来の観光マップを改め、女性をターゲットにした効果的な観光情報の発信を行うことを目的に「働く女性・週末の小さな旅」をコンセプトに「ことりっぷ 流山さんぽ」を作成。市内、鉄道会社、高速サービスエリア、都内書店など効果ある場所に配布をした。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	観光マップ配布部数	6,000		5,500	
指標	②	利根運河交流館来館者数	20,719	23,012	23,954	↑↑↑	実績
	③	見世蔵来館者数	11,421	15,476	14,795	↑↑↑	実績
	④	観光ウェブマップアクセス件数	28,419	90,340	58,591	↑↑↑	実績
	指標で表すことができない定性的な成果	近年、白味淋200年及び流鉄開業100周年並びに利根運河通水125周年等の記念事業によるマスメディアへの露出効果により、観光マップの需要が増えている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 流山本町のマーケット調査を実施した結果、来訪者の7割が女性であったことから、一番のボリュームゾーンに向けたマップを制作することでスタートした事業である。そこで女性に大変好評の「ことりっぷ」とコラボし「ことりっぷ流山さんぽ」が誕生した。この狙いは的中し、観光客を引き込むことができる情報ツールとなっている。また、この取組みが高く評価され、多くの自治体から視察や問合せがある。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,934,000	2,993,700	3,244,000			
事業費(b)(円)		837,900	920,700	985,000			
うち一般財源		837,900	920,700	985,000			
職員給与費(c)(円)		2,096,100	2,073,000	2,259,000			
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	基本的コンセプトは変更せず、最新の情報に修正し的確な情報を提供する。	③取組の課題	デザイン、内容とも好評であり、人気が高いことから在庫数が不足してしまっている。
②今年度(H27)に実施した取組	最新の情報提供を行うための修正を行い、基本的コンセプトを維持した冊子を作成した。	④今後の改善計画	非常に好評であることから、コンセプトは引き継ぎ、情報を最新のものに改編しながら増刷する。